かがやき

第51号
平成28年1月発行

発行・編集
特定医療法人新仁会 奈良春日病院
奈良市鹿野園町１２１２－１
TEL：0742-24-4771　FAX：0742-27-5873
H.P：http://www.narakasuga-hospital.or.jp
E-mail：info@narakasuga-hospital.or.jp

病院理念
我々は、新しき科学技術に基づき、深い人類愛を心に、熱き情熱を持って医療に専念し、地域に愛され信頼される病院になる事を目指す。

病院の基本方針
1、医療は究極のサービス業と位置づけ、ご利用者の満足度を高める努力をします。
2、ご高齢者の専門性を重視した医療を行います。
3、安全と安らぎのある療養環境を提供します。

職員の行動指針
1、優しさと思いやりの医療を実践する。
2、医療を行うプロとして知識と技術の向上に努める。
3、互いに理解し合い誇りある職場をつくる。

本年もよろしくお願いいたします

感謝状
特定医療法人新仁会
奈良春日病院様
多年にわたり赤十字事業の
進展に尽され多大の貢献を
されましたその御功労に対しここに深く
感謝の意を表します
平成二十七年十一月十一日
日本赤十字社
社長 近衛忠煇

献血協力への感謝状 頂きました

目次

- 日本赤十字社 感謝状
- 心不全について
- デイケア通信
- グループホーム便り
- 健康と介護
- お知らせ
- 編集後記

奈良春日病院関連施設

春日グループホーム 雪・月・花
奈良市白毫寺町900-1
TEL：0742-20-7227
FAX：0742-20-7228

訪問看護ステーション こまどり
奈良市鹿野園町1212-1
TEL：0742-23-6599
FAX：0742-23-6599

通所リハビリテーション 青春広場
奈良市鹿野園町1212-1
TEL：0742-24-4771
FAX：0742-27-5873

心不全について

今年6月米国心臓学会では、一般市民、患者および介護者の間で心不全に関する危険な誤解や知識の格差があることを示す調査結果（アメリカでの話です）を紹介しました。米国では、一生のうちに5人に1人が心不全を発症し、それによって9人に1人が死亡すると推定されており、入院費など、心不全に関連する費用は年間300億ドル（最近のレートでは3兆円程度でしょうか）を超え、最も一般的かつ最も医療費の高い心疾患となっています。

心不全は、全身が必要とする血液を心臓が上手く送り出せなくなった状態で、息苦しさや疲労感、足や足首のむくみなどの症状が出るものですが、回答者の58％が心不全を心臓の拍動停止による自然死と回答。46％が心不全には症状がないと回答するなど、患者や介護者を含めて大多数が心不全の病態、原因、症状について誤解があることが分かったとのことです。

日本においては一般の方々の知識はもう少し高いように考えますが、それでも以前はわれわれ医師そのものが診断書に死因として心不全と記載することなどが多かったため、心臓の病気の一つと考えておられる方もいるかと思います。

心不全とは体に必要となる十分な血液（酸素と栄養）を心臓が送り出せない状態―心臓ポンプ機能の異常―によって引き起こされる症状の総称で、すべての心疾患あるいは心機能異常を引き起こす疾患を基礎として起こるものです。したがって心臓のそのものの病気である心筋梗塞、心臓弁膜症、先天性心疾患などばかりでなく、継続的に心臓に負担をかけるような疾患―高血圧、糖尿病、甲状腺機能異常、呼吸器疾患、不整脈、貧血など多くの疾患によっても引き起こされます。

症状も多岐にわたり、急激に現れるものは急性心不全、慢性な経過をたどるものを慢性心不全、心臓の障害を受ける部位により左心不全、右心不全あるいは両心不全といったりします。

これまでこれら心不全の多くは、心臓が十分な血液を送り出せない＝心臓の収縮機能が低下し、十分な血液を送り出すことができなくなる「収縮不全」と考えられていました。しかし、最近の研究から、高齢者では、心不全の症状があるにもかかわらず、収縮機能は正常に保たれた「拡張不全」というタイプの心不全が多いことが分かってきました。拡張不全は、高齢者、女性、基礎疾患として高血圧・糖尿病・心臓病の既往などを持っている人に多いという特徴があります。通常の検査では見つかりにくく、放置したまま重症化してしまうこともあり、安心はできません。初期段階で気づけば多くの場合、薬や生活習慣の改善、基礎疾患の管理によりその進行を抑え、症状を改善することが期待できます。

普段から減塩、禁煙を心がけ、血圧や体重をきちんと管理することも大切で、医師、看護師、薬剤師、栄養士の指示を守ることが重要です。

循環器科　小玉　敏弘

デイケア通信 青春広場 vol.43

10月15・16日に毎年恒例の運動会を開催しました。競技内容は大玉転がし、パン（お菓子）食い競争、応援合戦、玉入れの4種目です。 赤、白それぞれのハチマキをして気合十分。まずは大玉転がしで、いつにも増して素早い動きで玉を転がし速さを競います。 そしてパン（お菓子）食い競争では、見ているだけなら簡単そうに見えるこの競技も、実際やってみると思い通りに咥えることが出来ず悪戦苦闘。 続いての応援合戦では、応援団長に扮した職員の掛け声と共に利用者様も大声を出してくださり、鈴と手拍子も加わって大いに盛り上がりしました。 最後に玉入れですが、かごを持った職員が円の内側を縦横無尽に動き回り、かご目掛けて目一杯投げ入れます。 的を外した玉が職員の顔面に命中したりするアクシデントもありましたが、声を張り上げて投げておられました。

普段とはまた違った雰囲気の中、皆様童心に返られ楽しまれていた姿がとても印象的で、盛大に盛り上がった運動会でした。

春日グループホーム 雪・月・花 vol.44

9月19日（土）、今年も「家族会」を開催させて頂きました。 開催場所は昨年と同じ近隣の佐保短期大学構内にある「レストラン鹿野園」です。

会場に到着すると、既にお越しになられた家族様とお席に座られ嬉しそうに語らう皆様の姿がありました。

12時過ぎに久富院長の開催の挨拶で始まり、恒例の乾杯の音頭は今年入居された男性の方にお願いしました。 準備もないままお願いしましたが、以前のお仕事の関係で慣れておられるので、素敵な挨拶と声高らかな「乾杯」での食事会となりました。 合間に日常の写真を収めたスライドショーをご覧頂きました。 最後に懐かしい歌を皆様で合唱頂きまして、今年の家族会を終了致しました。 毎年同じ内容で開催致しておりますが、毎年違う素敵な光景を拝見する事が出来ます。 又来年の準備は、一日一日の支援の積み重ねと思って職員一同精進致します。

健康＆介護

Vol.21

～ 公的サービスを活用しよう ～

『介護のために、どんな相談窓口があるのか？』をテーマに紹介します。

厚生労働省のホームページには、介護事業所生活関連情報検索という項目があります。ここでは、都道府県ごとの介護サービス事業所に関連した情報が公表されています。介護に関係する相談窓口の一例として、地域包括支援センターがあります。

★地域包括支援センター（大体、中学校の校区ごとに設置されている）

市町村が設置主体で、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域の住民を包括的に支援することを目的としています。居住地域によって、担当の地域包括支援センターが異なります。

＜主な業務＞

①総合相談支援業務 ・・・ 高齢者等に関するさまざまな相談を受け、適切な機関や制度サービスに繋ぎ、必要な支援を行います。

②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ・・・ 高齢者の自立を支援するケアマネジメントの支援として、介護支援専門員への日常的な指導、相談、助言を行います。

③介護予防ケアマネジメント業務 ・・・ 要支援・要介護状態になる可能性のある方に介護予防ケアプランの作成や、介護予防の事業が円滑に実施されるよう支援します。

④その他
●生活支援等サービス ●見守り・安否確認 ●配食 ●家事援助
●交流の場・通いの場 ●介護者支援 ●外出支援 ●多機能型拠点

何かと窓口あるけど…どこに相談したら良いの？

包括支援センターか市役所に聞いてみましょう！

病院や施設での相談に偏りがちですが、

身近にこんな相談窓口もあったんですね！

【引用・参考】『厚生労働省ホームページ』 http://www.kaigokensaku.jp/publish_seikatsu/

メディカルショートステイ ご利用下さい

メディカルショートステイとは、医療的管理を要するショートステイです。対象者は、地域医療機関で在宅医療を受けておられ、医学的管理を要するため通常のショートステイ入所困難な方を対象としています。利用をご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい。

編集後記…

年も明け寒さが本格化してきました。それに伴い全国各地でｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞが猛威を振るい始めています。基本的なことにはなりますが、手洗いやうがいを心がけ、外出される際には暖かい服装で出かけるなど各自で予防していきましょう。